

野崎 六助 (評論家)

①〈盗作〉の文学史 栗原裕一郎著

(新曜社・三、八〇〇円)

①労作である。元手のかかっている評論を読むのは愉たのしい。文芸における「盗み」は悪なのか。答えは自明のようであって、じつは違う。事を究めようとすれば蟻あり地獄じごくにはまりかねない。分析の深みと目配りの広さをともに要求される。著者はそれによく応え、先行者の道を示した。